



Title	玄宗・楊貴妃・安祿山と桐壺帝・藤壺・光源氏の寓意 ： 続古事談から見る源氏物語
Author(s)	荒木, 浩
Citation	詞林. 2004, 36, p. 11-29
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/67525">https://doi.org/10.18910/67525</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

『詞林』第三十六号 正誤表

〈誤〉

13頁下段13行目 話、下略)

↓ 話) …かくのごとく賢王にておはしけ

るが、楊貴妃と云ものいできて後、あ

さまつりごともせず、天下のことをす

て給にけるなり…

〈正〉

19頁下段18行目 「大ひげのはえたる

↓ 大ひげのはえたる

20頁上段3行目 (中略)「やうごくちうに

↓ (中略) やうごくちうに

20頁上段10行目 すいさうなるへし。…

↓ すいさうなるへし。…

24頁下段4行目 『源氏』先の御伽草子

↓ 先の御伽草子